

第1回オープンスクエアからの素材集

小田原のまちをつくっていく、役割をもっているのは誰だろう

をテーマに実施された第1回オープンスクエアのグループワークの結果から素材抽出作業を行った。その結果、

○住民（個人）

【市外の人】、【市民】（子ども、若者、シルバー世代、行政の受益者を含む）、
【無所属（サイレントマジョリティ）】、【外国人】

○組織

【議会】、【市長・行政】、【企業】、【地域団体】、【ボランティア団体】、【学校】

○小田原を愛す人

【小田原らしさ】

○コーディネータ

【コーディネータ】

が素材として抽出された。

○住民（個人）

【市外の人】

- ・観光客
- ・市外から通勤、通学している人

【市民】

- ・小人。
どんな町にしたいのか興味をもたせる。
- ・子ども。
思いやりを植え付ける。
- ・将来の担い手。
若者。
- ・行政によつての受益者（障害者等）。
- ・人材育成。
- ・隠れた人材を発掘。
- ・定年退職者シルバー人材。

【無所属】→サイレントマジョリティ

- ・自治会等に無関心な人。未加入者。
- ・まち作りは市民全員に権利と義務がある。
- ・行政依存の考えを改める。
- ・自治会に未加入の市民。
- ・ベッドタウンとしてのみ考えて存在する市民。
- ・行政の消費者。受益者が多数。

【外国人】

- ・外国人就労者。（その家族を含む）（子女）

○組織

【議会】

- ・市民の代表リーダーシップ。

【市長・行政】

- ・前例踏襲を改める。
- ・市民の具体的な声を的確にとりあげる。
- ・人材発掘事業の推進に努める。

【企業】

- ・地産地消の推進
- ・特産品づくり（観光客の増加につながる）
- ・農業従事者
林業従事者
水産従事者
- ・商業者。
各種サービス業者を含む。

【地域団体】

- ・老人会（単位・連合・総連合）
- ・自治意識（自分たちが構成している社会であるということ）
- ・自治会（役員）
 - 単位自治会
 - 連合自治会
 - 総連合自治会

【ボランティア団体】

- ・老人会。
- ・社協（地区社協含む）。
- ・子ども会。

【学校】

- ・PTA。（役員）
- ・大学生。
大学にでき人数は増えているが、今のところ関わりが少ない。
- ・学生・バイト生。
- ・教師のまちづくりの登用制度。（確立）

○小田原を愛す人

【小田原らしさ】

- ・知る→愛することにつながる。
- ・市内ゆかりの文化人。

○コーディネータ

【コーディネータ】

- ・各役割の境界を低くする。
- ・地域のつなぎ役。
- ・様々なコーディネーター。